

空

Bブロック全作品と講評

www.columnland.net

空へ向かつて

見上げればいつも空はそこにあった。

いつ見ても同じ時はなく、

朝は太陽の光で僕を目覚めさせ、

夕方は赤く染まり黄昏を感じさせ、

夜には一面の星空が僕の心を躍らせた。

僕はこの空に少しでも近づこうとした。

まず家の屋根に登った。全然ダメだ。次。

高層ビルの屋上。これもダメ。

近くの山の頂上。少しは近づいた気がしたが、まだ満足で
きなかった。

エベレストの山頂。雲より上に行ってしまったが、この時には
すでにさらに上しか考えられなかった。

そしてついに……。

今僕は空の一番高い所にいる。

僕は宇宙飛行士になったのだ。

出会っては別れ
産んでは殺し
手を取り合えば周囲は敵に

人間とは
なかなか信じられないものです

でも

いつしか
互いに愛し合い
決して裏切ることのない
この世に唯ひとりの人が

今も

同じ空の下に
確かに生きて
何か私の知らないことをしている

そう思うと
なんだかホッとするのです

ハート・アンダー・ザ・スカイ

雲の上の0000

本日は世界で唯一雲の上にあるホテル「天空」へお越しいただきまして誠にありがとうございます。

まずこのホテルの説明をさせていただきます。

当ホテルでは壁や床などほとんどが雲で構成されています。

雲と雲との間に発生する雷に関して、

当ホテルでは、企業秘密なので詳しくは言えませんが、

ある機械で発生しないようにしているのです。安心ください。

次に移動の際について、当ホテルは4つのエリアに分かれており、雲の上にあるので歩いて移動できません。

そのためそれぞれの部屋にある孫悟空がよく乗っている

例の雲に乗って移動していただきます。乗り方が分からなくても、

ナビゲーションシステムと安全装置が付いていますので、子供でも簡単に乗ることが出来ます。

最後に浴室についてです。

浴室にある雲がシャワーになっていて赤いスイッチを押すとお湯が出ます。温度調節はレバーでお願いします。間違えても緑のボタンを押さないでください。雪が降ってきます。

今までにも入るくらい凍傷になっていますからご注意ください。

わからないことだらけでどうかが困ったアフロヘイトに連絡ください。至急スタッフが向かいます。

ではゆっぺりお過ごしください。

大気圏再突入

懐かしい地球が見えてきた。

まっくらな宙にうかぶ、青い美しい星。

7年間の長い旅を終え、やっと帰ってきたのだ。

・・・本当に長い旅だった。

ああ、でも。

あの場所にたどりつくことはできない。

大気の中で燃え尽きなければならないのだ。

激しい空気抵抗を受けて急激に減速する

この身を焼く青い空

さよ・・・な・・・ら・・・っ

「あつ、流れ星！」

空の色

ふと空を見上げると、どこまでも透き通る青空だった。

そんなきれいな空を見ると、ちつぽけなことで悩んでいた自分が馬鹿らしくなってきた。

そしてふと思う、青空って何だろう？

どうしてこんなにもすがすがしい気持ちにしてくれるのだろうか。

そもそも、私たちが青空だと思って見ているものは、空気である。

空気は、文字通り空っぽというわけではない。窒素78.08%、酸素20.95%、アルゴン0.93%、二酸化炭素0.035%、その他主にネオン、ヘリウム、クリプトン、キセノン、メタン0.01%で構成されている。しかしこれは乾燥空気での組成であり、実際は水蒸気やほこりを含んでいる。また、オゾン層があるように、特定の高度では、その組成比は全く異なった値をとる。さて、その空気に色が現れるのは、レイリー散乱によるものである。つまり、光の波長より小さなサイズの粒子による光の散乱である。散乱の量は粒子の大きさと光の波長による。昼間は、散乱をしやすい波長の短い青色の光を見ているのであり、夕方は、観測者と太陽の間の大気の大気の存在する距離が長くなるので、散乱を受けにくい波長の長い赤色の光を見ているのである。ここで、誰しもこのような疑問を抱くであろう。地球以外の大気のある惑星で見る空も、地球同様青色であるのだろうか、ということだ。答えを先に述べてしまうと、必ずしも青色ではない。実は我々は、青空ではない惑星を知っている。そこでの空はまさしくその星の原住民の肌の色を映し出したような色である。その原住民は、人間のような雌雄の概念がなく、産卵によって子孫を残している。時に我々は、その原住民を神として崇め、時に魔王として忌み嫌ってきた。もうおわかりだろうか。そう、ナメック星である。その星の空は見事なまでに緑色である。

空気を読むのは、なかなか難しいものだ。

今日の気分

天気は重要だ。その日の気候はモチベーションを決めてしまう。

晴れの日には気が進む。自分の中から湧き上がる力に身を任せたい。

曇りの日は不安な気持ちになる。

雨が降らないかどうか気になり、そわそわしてしまう。

雨の日は憂鬱になる。しかし想い出はたいいてい雨の日。

雪が積もった日は庭ではしゃぎたくなる。これは犬の気持ち。

いろんな「空」の物語

ある日の夕方、ヒンメルさんは毎日の日課である散歩をしている途中河原を歩いていると緑色に光る珍しい石を見つけたので、「これは何かが起る予兆だ」と心弾まして、あたり一面何もない、空虚な場所にある自分の家に帰り、玄関の前に飾っておきました。これから急に変わっていく空のように、この空虚な所にあるヒンメルさんの家を中心に、騒動が起ることも知らずに。

翌日の朝、ヒンメルさんは、朝の散歩に行こうとして家のドアを開けたところ家の反対側に大きな城が立っていました。ヒンメルさんは夢だと思い、自分の顔を引っ張りましたが、何も変化がなかったので、頭の中が空っぽになってしまい、その場に突っ立っていました。二十分後、城の門が開いて小さな子供が出てきたので、ヒンメルさんはその子供にこう問いかけました。

「坊やのパパとママはどこにいるのかな？となりのおじさんとして挨拶したいからね。」

その子は、ヒンメルさんの顔を見ながら右手の人差し指を上に向けました。ヒンメルさんは彼の行動の意味がわからず、何度も同じ質問をしてみました。答えは全部同じで、人差し指を上突き上げるだけでした。ヒンメルさんはとりあえずその子を自分の家に招待しました。しかし、その子が玄関に入った瞬間、急に目つきが変わって、飾ってあった石をとって帰って行きました。ヒンメルさんは急いでその子の後を追いましたが、見つからず、それどころか、さっきまで目の前にあったはずの城がなくなっていたのです。ヒンメルさんはもう一度、自分の顔を引っ張りましたが、現実のままでした。そして上を見上げたところなんと城が浮いていたのです。

実は、この城は緑色に光る石を動力源とした空の城だったのです。（その子が指を上にはかり上げていたのはパパとママが別の空の城にいたからだだったのです。）

ヒンメルさんは、どんどん離れていく空の城をみつめながら、再び自分の周りが、空虚な場所になっていくのを空しく感じるのでありました。

今日の空模様

朝起きてまず、窓を見る
外に広がる、青い空
今日は楽しい遠足の日。

ついに出発時刻になった
空には雲が、増えてきた。
嫌な予感が、頭に浮かぶ。

やっと到着、目的地
空に広がる、黒い雲
まあとりあえず、遊ぶとしよう。

冷たい何かが、ポツリと当たる
空から雨が、降ってきた
嫌な予感が、的中だ。

「中に入って、お昼にしよう」
待っていました、弁当タイム
わくわくしながら、フタを開ける。

弁当箱の中身は「空」だった

「そら（空）」の普遍性、またその用例

「なあ、ソーラーってどういう意味だ？」

「へ？」

「ソーラーカー、ソーラーシステム」

「ああ、太陽光だろ。外見てみるよ、お日様はいつもお空に浮かんでるだろ？」

「空システム、そーらーシステム。常識だよ」

「・・・そらぞらしい事を言うな。」

それにしても、良い天気だな、今日は」

もう正午に近い時間であったが、平日のアパートには物音一つなく、四畳半の部屋の小さな窓に太陽の光は有り余るほど差し込んでいた。

目を覚ましたばかりの二人は、その光を眩しく感じながら時間を持て余していた。

「お前、今日バイトじゃなかったっけ？」

「いや、先週でやめたよ。あんなケチケチしたレジ打ち、やってられないって。」

もつと空飛ぶ鳥を落とすように、大金稼ぎたいんだよ俺は」

「絵空事言ってる暇あったら、飯でも作ったらどうなんだ」

「なんで俺なんだよ」

「そら、そうだよ。下らないこと言ったバツだよ。」

「そらおそろしいヤツだな。」

・・・まあ、いいや、ちょっと待ってろ」

一人は台所に向かったが、思い立ったように振り返って言った。

「せつかく良い天気なんだ。」

たまには部屋を出ようぜ。二人分の弁当くらい、作れるだろ」

「・・・そうだな、俺も大学は休みだし。」

ただ、空腹なんだ、はやくしろよ」

「自分の分くらい作ったらどうだ、寝てたって腹はふくれないだろ。」

・・・立つたついでに、冷蔵庫からハムとレタスな」

窓の外には、とうに散ってしまった葉桜が見える。遠くから響く鳥達の声も、一段と平和な調子に聞こえる。春の昼間の凜とした風景は、台所で待っている一人の目を奪っていた。

「・・・おい。」

冷蔵庫、空っぽだよ」

そら

果てしなく広がる青いそらの真ん中に

ぼつんとひとつ

小さな雲が浮かんでいた

雲はかぜに流されて

たくさんのおそらを渡り たくさんのおそらを見た

人間が自分勝手に生きることを知っているし

人間がほかの人間のためにつくすことも知っている

あるとき 雲は見た

ひからびた村のなかで

苦しみながらも 人々が助け合っているのを

雲は村に雨を降らした

村の人々は 雨に歓喜した

小さな雲は きえていた

空を見上げる少年の瞳に映る世界

彼はいつも、空を見上げていた。

「ひこうきになっておそらをじゆうにとびたい」彼は幼稚園の頃、空を指差しながらいつもそう口にしていた。

小学校の卒業文集では、将来の夢は飛行機のパイロットになることだと書いた。

中学生になった彼は、パイロットになるにはとても勉強をしなくてはならないことを知った。夢を叶えるため、彼は必死に勉強をした。疲れた時は空を見上げ、飛行機を操縦している自分を想像し、気を引き締めていた。

高校二年生の修学旅行で、彼は初めて飛行機に乗った。初めての空の旅に感動し興奮したものの、ずっと夢見ていた自由はそこにはないと感じた。飛行機はただ空を飛んでいるだけ、そう感じた。

飛行機に変わる、もっと自由に空を飛べるものをつくりたい、そう考えた彼は、工学系の大学に入学した。物理学や数学、化学などさまざまな講義を受け、多くの知識を身に付けていった。

大学院へと進み博士号を取得後、彼は大学で研究を始めた。自由に空を飛びたい、少年の頃の夢を叶えるべく、毎日研究を続けた。何度も失敗を繰り返し、そのたびに考え、原理や仕組みを見直していくことの連続だった。時には空を見上げ、自らの夢を仲間に語った。自由に空を飛ぶ、彼は楽しそうに、しかし力強く語っていた。

研究を始めてから四十年余りがたったある日、一人の学生が彼の部屋に入った。そこにあったのは、宙を浮くガラクタと、椅子に座ったまま幸せそうに眠っている彼の姿であった。

彼はもう、空を見上げることはなかった。

学生がタケコプターを完成させるのはそれから二十年後のことである。

「トイ」

・・実行する日は
青空が広がる日と決めた

ミをおした

フアつとしたかんかく

せかいがしろくろに

たかいソラ

ドレもたいせつだった

ひくいソラ

またくりかえすの？

シがわたしをつつむ

よし、今日の演奏も成功だ

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	夜の空	4 pt	7 位	1 sp
		見えないから聴く。そんなコンセプトだったでしょうか。 薄墨の日本画のような風景が、ほんわりと浮かんできました。夜の匂いがしっかりとらえられたすてきな表紙で今週のスタートです。 特別賞：深いで賞（暗い空を見つめるのではなく、耳をかたむけるといふ点に奥深さを感じた）		
A02	そらはどうしてあおいのかな？	29 pt	1 位	1 sp
		やるなあ！ 技能賞。 絵本テイスト、ほんわかな気持ちで読み進めていたら、さいごに「みんなしらないんだぜ」と。子どもの背伸び感がしっかり出ている、とてもほほえましいオチでした。 シンプルなおチが大ヒットして金メダルの栄冠に輝きましたね。イチオシフレーズ大賞も付いてきました。 おめでとう!!! 特別賞：腹黒いで賞（子供扱いしないでくれ！！という抗議の気持ちが表れていて良い!!）イチオシフレーズ：「しらないんだぜ」（知ったかぶってるところがいい）「みんなひかりのさんらんのせいだってしらないんだぜ」×2 「海の青が空にうつってるんだよ」		
A03	空の落下現象を発見してノーベル物理学賞	1 pt	10 位	0 sp
		がんばれ正統派！ きっちりと書き込んだニュース記事。どんな「証拠」を見つけたんだろう？と読み手の心をぐいぐい引き込みます。ラスト「杞憂」でまとめるに至るまで、緻密で誠実なお仕事ぶりに拍手！ イチオシフレーズ：「子供の発想を摘みとって消してしまうようなことをしてしまうとすることが杞憂で済むことを祈るばかりである」		
A04	無題（回文）	0 pt	11 位	4 sp
		努力したんだぜ感、二重丸。 つくるの、たいへんですよね、こういうの。 たしかに今年の春は、やたらにお花見期間が長かったなあなんて、同じ年に大学に入った人たちの共通の思い出ですね。ポイントは入らなかったけれど、特別賞をたくさんいただきました。 特別賞：がんばったで賞（よく考えたなあ）書体賞（書体、短さ）努力賞（がんばりとがんばりとがんばりと．．．最後の1文はいらない）おちみちお賞（まさかさかさま） イチオシフレーズ：「総意、」		
	そら（僕の—	2 pt	9 位	0 sp
		くるりとめぐる四つのシーン。うまく擬人化が効い		

A05	日)	て、擬態語の工夫もていねいで、さらにラストを「そら」でまとめた前向き気分も爽やかです。 ルビ使いのワザ、さらに磨いてくださいませ。
A06	お空の国のアリス	5 pt 6 位 1 sp
		アリス、天へ帰るの巻。とてもきれいな帰り方で、おばあちゃんアリスに浸れます。 三月うさぎとか脇役を固めて、ムダな説明を省いた潔さもストーリーを引き立てています。 特別賞：コラムランド賞（実はお茶会への招待を狙っていたのでは（笑））
A07	空の顔	0 pt 11 位 0 sp
		お父さんが幼な子に語りかけるような、やさしいナレーションが好印象。 「それはね」のリフレインが、いいリズムを刻んでくれます。 せっかく絵本テイストなので、言葉のリズムも整えるによりGOOD。
A08	白紙	19 pt 2 位 0 sp
		ながあい言ひ訳。そのもっともらしさが、ラスト1行ですとんと落ちて、親しみやすい光景が仕上がりました。白紙にふさわしいシルバー・メダルに、イチオシフレーズ大賞のおまけつきです、おめでとう!! イチオシフレーズ：「ごめんなさい、白紙です」×4
A09	空っぽ	6 pt 5 位 2 sp
		このレイアウトがそそりますね。 じゃあ、オレが「愛」を注いでやろうじゃないか、と読者を誘ってくれます。 特別賞：男の本音で賞ザ・インパクト賞（インパクトがあったから） イチオシフレーズ：「愛で満たして。」「満たして」×∞
A10	努力の成果	4 pt 8 位 1 sp
		人生はゲームの宝箱に似て。労多くして功少ないもの。負けるな！自分への励ましメッセージだったでしょう。 ずっと分かりやすく響くけれど、語り手の存在が特定できると、もっと立体的になりそう。 特別賞：努力賞（その箱をあける努力を賞して）
A11	空車	10 pt 3 位 5 sp
		うーん、謎。幽霊？時間軸のズレ？TAさん総出で考えたけれど謎のままでした。 どうやら、作者さんもきっちり詰めていたわけではなかったらしい。 そんな謎めきが逆に注目を呼んで、ブロンズ・メダルと最多特別賞の同時受賞です、おめでとう!! 特別賞：解説してほしい賞（意味がわからなかった） 想像をかきたてたで賞（考えたが、よくわからなかった） 何が起こったので賞（意味がわからない） なんなんで賞（気になるよー）よくわからなかったで賞

		(空車になった理由がよく分からなかったところが逆に面白い)
A12	小心物語	9 pt4 位0 sp 恋未満の淡い思い。日常光景を舞台にいていねいに辿られて、ずっと感情移入できます。 ふんわり感が好印象な今週の読み納めでした。 イチオシフレーズ：「僕が見つけた特等席」「まだ彼女の隣は空いているだろうか」× 2

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	空へ向かって	25 pt1 位1 sp ビルやエベレストからぽーんと飛んで宇宙へ。その抜け感が爽快な今週の表紙です。 みんなの気持ちを乗せて、そのままの勢いで首位まで一直線、あざやかな飛翔ぶりでした。おめでとう!! 特別賞：レイアウト賞（レイアウトに工夫があつて文脈ときっちり合っている感じがあつたので） イチオシフレーズ：「今僕は空の一番高い所にいる。」		
B02	ハート・アンダー・ザ・スカイ	16 pt2 位1 sp この世界のどこかに私を待っている人が必ずいる。赤い糸。 信ずる気持ちが飾らない言葉で差し出されて、ほんとに「ホッ」とできるなごみトークでした。たくさんの共感をもらえてのシルバー・メダルです、おめでとう!! 特別賞：ホッとするで賞 イチオシフレーズ：「なんだかホッとするのはです」× 3		
B03	雲の上の○○○	0 pt11 位0 sp アトラクションみたいなホテルですね。 雷とかシャワーとか小道具に凝ることで、遊び心がわくわく伝わってきます。 タイトルはジブリか??		
B04	大気圏再突入	1 pt9 位0 sp 人工衛星かなあ? ふるさとの懷に抱かれる直前で燃え尽きなくてはならない宿命という設定が、ちょっと虚を突かれて新鮮でした。		
B05	空の色	11 pt4 位2 sp ウンチクを背景のように仕立てた工夫が効いてます。 ナメック星でネタ狙いをせずとも、正統派でも十分押せる内容。 おもしろさがヒットして、イチオシフレーズ大賞獲得です、おめでとう! 特別賞：空気を読みま賞（空気をよく読めてるから） どうしま賞（ナメック星がいい） イチオシフレーズ：「空気を読むのは、なかなか難しいものだ。」× 4 「そう、ナメック星である。」 「レイリー散乱」「ナメック星」		

B06	今日の気分	3 pt7 位0 sp たしかにね、と共感を誘うトークです。フレーズの力も強い。 レイアウトもテンションに合わせて上げ下げしたら良かったのでは。 イチオシフレーズ：「しかし思い出はたいてい雨の日」×2
B07	いろんな「空」の物語	0 pt11 位3 sp 飛行石。イメージはラピュタでしょうか。 おとぎ話風のゆったりした語り口が、全体をいい雰囲気には保っています。口調はたいせつ。 それにしても、これでもかと「空」を詰め込みましたね。ヒンメルさんの解説を作者トークでぜひ。 特別賞：誰で賞（ヒンメルさんの名前はどこからとってきたのでしょうか？）お父さんはムスカ大佐で賞（ラピュタっぽい）話がふくらんで賞（ヒンメルさんで話がはずんだ）
B08	今日の空模様	11 pt5 位1 sp あーあ、そんな結末。 そこに至るまでのコミカルな言葉のリズムがここちよい。さいご、ただの「」でも楽しかったかも。 特別賞：テンポがいいで賞
B09	「そら（空）」の普遍性、またその用例	3 pt7 位3 sp 例文集。なかなか手の込んだ秀逸な仕上がりです。 とぼけ味のコントにオチもシャープに決まって、すてきな逸品でした。 特別賞：空にくわしいで賞（単語力の豊かさがすばらしい）Wiki賞（Wikiにのせたーい!!）駄洒落賞（だじゃれうまい） イチオシフレーズ：「そらおそろしいヤツだな」
B10	そら（小さな雲）	6 pt6 位1 sp いいなあ、このささやかな自己犠牲。誰の目にも触れない小ささ。 きっとまた生まれ変われるよね。 小さな小さなファンタジーになごみました。 特別賞：スタンダード賞（我が班の第4位!）
B11	空を見上げる少年の瞳に映る世界	1 pt9 位0 sp 夢は、そんなに簡単には実現しない。けれど、それを追っかけている間は、ずっとしあわせ。そう死ぬまで。そんな寓意だったでしょうか。重厚ドラマにしっかり浸れました。 ラストのタケコプターはかわいいけれど、固有名詞なのでコードぎりぎりかな。
B12	「トイ」	12 pt3 位3 sp 音楽を言葉でキャッチ。「しろくろ」とあるからピアノでしょうか。ド・レ・ミ♪奏でるごとに世界に命が吹き込まれるような。 言葉数が少ないほどに、青空へと想像の翼が羽ばたくような今週の読み納めでした。みんなの心の琴線にしっかり届いてのブロンズ・メダル、おめでとう!!

特別賞：おくがふかいで賞 ハニホヘトイロハ賞（タイトルがわかった時の喜び） はっきりしま賞（タイトルの意味がはっきりしなかった）
イチオシフレーズ：「シがわたしをつつむ」